

10 伊達市 年の歩み



伊達市合併10周年記念



市長・議長あいさつ

平成の大合併の号令の下、郡内の 5 町が合併、伊達市が発足して早いもので 10 年が経過しましたが、振り返れば、この間にはいろいろのことがありました。

その第一は、何といても「東日本大震災」であり、津波が原因で福島第一原発が事故を起こし未曾有の放射能災害が発生したことです。この災害は広域多岐にわたり、かつ過去に経験の無い対応が必要でしたが、原子力専門家の助言を受けつつ除染の試験等国県に先駆けて実施し、放射能対策を迅速に取り組むことが出来たのは合併による広域化、職員規模拡大の結果であると考えています。

第二は、少子高齢社会に対応するための「健幸都市」への取り組みです。合併は進展する少子高齢社会に対して持続可能な基礎自治体を作ることが目的で、そのための財政の健全化や高齢福祉制度の複雑高度化に対処するための組織改正や専門職員の配置等を実施する一方、少子化には認定こども園、放課後児童クラブ館等の整備を進め、子育て支援や子供の健全育成に努めてきました。

震災後の本市の社会環境は、復興道路の建設などで大きく変わって来ていることを意識しつつ、次の 10 年に向かって新たな出発をしていきたいと思いますので、市民の皆さん宜しくお願い致します。



市長 に志田昇司



平成 18 年 1 月伊達郡内の 5 町が合併して「伊達市」が誕生し、早 10 年の歳月が経過いたしました。

この間、東日本大震災とそれに伴う原発事故では、本市においても甚大な被害を受け苦難も強いられましたが、市民の皆様が一丸となってこの苦境に立ち向かい乗り越えてきましたことは、私たちの大きな財産になったものと思います。まだまだ放射能対策などの課題は残っていますが、市民の皆様のたゆまぬご努力に感謝申し上げます。

さて、伊達市では平成 27 年度より、第 2 次総合計画に基づくまちづくりが進められています。少子高齢化、人口減少が進む厳しい環境ではありますが、復興から発展へ、夢と希望の持てるまちづくりを進めるため、私たち市議会も市民の皆様の声を聴きながら、市政に反映されるよう努めてまいります。

市民の皆様におかれましても、これからの未来に向かって、これまで以上にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議長 安藤喜昭



行政と議会のあゆみ

行政

歴代市長

歴 順	氏 名	在 任 期 間
初 代	仁志田 昇 司	H18. 2.12～

※職務執行者 富 田 健一郎 H18.1.1～H18.2.11

歴代副市長(助役)

歴 順	氏 名	在 任 期 間
助 役	武 田 芳 則	H18. 4. 1～H20.3.31
第2代	小 林 武 正	H20. 4. 1～H22.3.31
第3代	嶋 原 貞 男	H22. 4. 1～

※地方自治法の改正により、平成 19 年 4 月 1 日付けで「助役」を「副市長」に改称

歴代教育長

歴 順	氏 名	在 任 期 間
初 代	齋 藤 良 眞	H18. 1. 1～H19.7.31
第2代	湯 田 健 一	H20. 4. 1～

※職務執行者 佐 藤 守 一 H19.8.1～H20.3.31

歴代収入役

歴 順	氏 名	在 任 期 間
初 代	熊 坂 功	H18. 1. 1～H18.3.31
第2代	谷 口 紀 夫	H18. 4. 1～H20.3.31

※地方自治法の改正により、平成 20 年 3 月 31 日付けで収入役の役職を廃止

議会

歴代議長

歴 順	氏 名	在 任 期 間
初 代	高 橋 幸 吉	H18.1.11～H18.4.30
第2代	滝 澤 福 吉	H18. 5. 1～H22.4.30
第3代	吉 田 一 政	H22. 5. 1～H26.4.30
第4代	安 藤 喜 昭	H26. 5. 1～

歴代副議長

歴 順	氏 名	在 任 期 間
初 代	高 木 征 治	H18.1.11～H18.4.30
第2代	佐 藤 勲	H18. 5. 1～H22.4.30
第3代	齋 藤 和 人	H22. 5. 1～H26.4.30
第4代	大 橋 良 一	H26. 5. 1～

大規模災害時相互応援協定



北海道松前町

平成 24 年 10 月 20 日

※平成 23 年 10 月 1 日には姉妹都市協定を締結



島根県出雲市

平成 24 年 11 月 13 日



山形県米沢市

平成 25 年 2 月 19 日



滋賀県草津市

平成 25 年 1 月 31 日

※平成 26 年 11 月 3 日には友好交流都市協定を締結



新潟県三条市

平成 25 年 1 月 28 日



長野県南牧村

平成 25 年 3 月 1 日



新潟県見附市

平成 25 年 1 月 28 日



千葉県白井市

平成 25 年 7 月 10 日

大規模災害時相互応援協定とは、災害時における応急対策、復旧復興対策を円滑に行うことを目的とした協定

写真で見る10年 年表

平成18年 2006

- 1月1日 5つの町の合併により伊達市誕生
- 1月11日 市議会議員81名による初議会
- 2月12日 仁志田昇司市長就任
- 3月16日 市民参加により市章制定
- 6月8日 新市建設計画推進のため
地域審議会開催
- 7月21日 伊達学習交流館開館
- 8月27日 伊達ももの里マラソン大会が
全国ランニング大会 100 選に認定



仕事始めで合併を祝う (H18.1.4)



完成した伊達学習交流館
(H18.7.21)

平成19年 2007

- 4月1日 健康増進事業全市で実施
 - ・健康運動教室
 - ・高齢者筋力トレーニング事業
 - ・元氣じゃ脳教室
- 7月1日 水道料金統一
- 9月5日 ほばら生き生きハウス開所



エアロバイクに取り組む
健康運動教室 (H19.4.1)

平成20年 2008

- 3月1日 阿武隈急行保原駅と大泉駅の
駅前広場整備
- 4月1日 伊達市第1次総合計画スタート
- 10月15日 国道349号線梁川大橋開通



スロープや駐輪場が新たに
整備された大泉駅 (H20.3.1)

平成21年 2009

- 4月1日 霊山児童館オープン
- 9月1日 高齢者配食サービス開始
- 10月24日 市町村対抗福島県軟式野球大会
伊達市初優勝

乳幼児から児童まで自由
に遊ぶことができ、放課後
児童クラブも併設された
霊山児童館 (H21.4.1)



平成22年 2010

- 4月1日 市内初の認定こども園大田開園
- 4月7日 観光物産協会による観光案内所
阿武隈急行保原駅にオープン
- 10月13日 県内初の地域おこし支援員配置



市の特産品が多数並び
伊達市観光案内所 (H22.4.7)

平成23年 2011

3月11日 東日本大震災発生



全8カ所の給水所には連日長い列が

- 市内の最大震度 6弱
- ライフライン復旧状況
 - 断水 最大10日間
 - 停電 最大 3日間
 - 電話不通 最大 5日間
- 家屋被害（半壊以上） 284棟
- 公共施設被害
 - 保原小学校と梁川小学校が使用不可となり、他校の空き教室や体育館で分散授業を行う



建物の50%以上が損壊したと判断される全壊家屋は28件にも及んだ



バス送迎により旧泉原小に登校する保原小の児童



17カ所の道路・橋梁が通行止めに



市内をはじめ全国各地から救援物資が届く

3月23日 掛田小への統合により泉原小閉校

3月24日 市職員による放射線量測定開始

子どもが受ける放射線量の低減対策として真っ先に取りかかった校庭の表土除去

4月29日 校庭の表土除去開始

6月18日 放射線への不安解消のため、市内保育所・幼稚園・小中学校にエアコンを設置

6月30日 霊山町上小国・下小国・石田地区、月舘町相蔵地区の113世帯が国から特定避難勧奨地点に設定される



7月9日 学校プール除染開始

7月16日 全国各地から集まったボランティアによる学校除染実施



富成小でのボランティアによる除染活動

7月28日 ガラスバッジ（積算線量計）による外部被ばく検査開始

9月17日 だてな復魂祭開催

10月1日 保原中央病院を経営する公益財団法人仁泉会に梁川病院を譲渡

10月2日 合併5周年記念式典市の花木鳥発表

10月7日 自家消費農産物のモニタリング検査開始



合併からの歩みを振り返り、さらなる市の発展を誓った(H23.10.2)

10月11日 除染支援センター（除染推進センター）開設

除染作業の助言や相談、放射線量の調査や資機材の貸出を行う除染支援センター（H23.10.11）



10月24日 ホールボディカウンターによる内部被ばく検査開始

11月3日 健幸都市宣言大会

11月25日 保原町富成地区・霊山町下小国・石田地区の15世帯が国から特定避難勧奨地点に追加設定される

平成24年 2012

2月27日 梁川小学校仮設校舎で授業開始

3月1日 保原小学校新校舎開校

4月1日 内部被ばく検査全市民に拡大

5月18日 生活圏除染開始

7月1日 外部被ばく検査全市民に拡大

7月15日 市内初の屋内遊び場「伊達市ちびっこ広場」泉原にオープン

10月1日 米の全量全袋検査開始

10月2日 米国の劇団と市内小中学生が英語劇を作り上げる「ヤングアメリカンズ」開催

10月27日 伊達市総合防災訓練初実施

11月27日 相馬福島道路「霊山道路」起工式

12月14日 特定避難勧奨地点設定解除



プレハブ建築による梁川小学校仮設校舎（H24.2.27）



震災により建設工事が一時中断された保原小学校新校舎（H24.3.1）



歌やダンス、パントマイムなどの英語劇を披露したヤングアメリカンズ（H24.10.2）



東京藝大と市内中学校吹奏楽部による合同演奏会（H25.2.3）

平成25年 2013

2月3日 吹奏楽きらめき事業合同演奏会開催

3月10日 復興の灯プロジェクト開催

4月1日 認定こども園上保原開園

5月29日 運動に取り組む市民の参加率を他自治体と競う「チャレンジデー」初参戦

6月27日 健幸都市基本条例制定

9月15日 保原総合公園リニューアル記念「元気はつらつプロジェクト」開催

相馬と福島を結ぶ高速道路 霊山道路の工事が本格化に（H24.11.27）



震災からの復興を願う復興の灯プロジェクト（H25.3.10）

12月2日

放射能相談センター開所

3年ぶりの出荷を祝う
あんぽ柿の出荷再開式

平成26年 2014

2月15日

記録的な大雪による被害

4月1日

公民館から交流館へ

8月23日

霊山太鼓まつり・だてな復魂祭
同会場で同時開催

9月1日

集会所で体操を行う「元気づくり会」スタート

平成27年 2015

2月13日

ふくしまデスティネーションキャンペーンにあわせて、市の観光をPRする
「伊達市おもてなし隊」誕生

3月2日

梁川小学校新校舎開校
やながわ放課後児童クラブ館開館

3月25日

屋内遊び場「スマイルパークほばら」
オープン

4月11日

伊達氏ゆかりの公園
政宗にぎわい広場オープン

4月18日

チンチン電車復元完成お披露目式

6月6日

屋内遊び場「パレオパークやながわ」
オープン

7月10日

国道349号線御代田バイパス開通式

8月1日

公立初の梁川認定こども園開園

9月10日

平成27年9月関東・東北豪雨による被害

平成28年 2016

1月1日

伊達市合併 10 周年



市の特産品であるあんぽ柿
ブランド復活へ大きな一歩
(H25.12.2)



身近な集会所で楽しく体操を行う元気づくり会
(H26.9.1)



地域コミュニティの拠点
としても活躍する梁川小学校
(H27.3.2)



梁川小学校の敷地内に建設
された放課後児童クラブ館



待望の御代田バイパスが完成
(H27.7.10)



県内最大級の遊具を備えた
スマイルパークほばら (H27.3.25)



児童達が乳幼児と「群れ遊ぶ」
梁川認定こども園 (H27.8.1)



連日の雨により石田川が氾濫し
崩落した国道115号 (H27.9.10)

伊達市民憲章～心をひとつに～

わたしたちは、緑豊かなふるさとの歴史と伝統に誇りをもち、
協働の精神でさまざまな困難をのりこえ、健康で安心して暮らせる
活力ある「伊達なまちづくり」をめざし、この憲章を定めます。

- 一 まもりましょう ふるさとの自然と歴史を
- 一 つなぎましょう 世代の絆とたしかな信頼を
- 一 そだてましょう 支えあいと思いやりの気持ちを
- 一 きずきましましょう 学ぶ心とゆたかな文化を
- 一 めざしましょう すこやかで活力のあるまちを

伊 達 市 歌

作詞 和合 亮一

作曲 伊藤 康英

伊達の
あしたへ

あしおと
あしあと
ともよ道あり

桃のふるさと
緑の木の実は
ほよせる季節（とき）
セキレイ光り

はるか夕焼け

星ふるすあし
のみちあぜみち
空のふもとに
あかまつたずね

伊達の
みらいへ

あしおと
あしあと
ともに道あり

風のふるさと
緑のかなたに
かがやく峰に
セキレイの翼（はね）

はるか青空

ひかりのはだし
くものうたごえ
めぐる野原で
虹とささやき

みらいへ
あしたへ

はるか伊達路へ

道ゆく道へ

ふるさと

一つ一つ

川も山も

風も町も

谷も鳥も

空も雲も

◎表紙の写真 「紅屋峠の千本桜」

合併当初は 200 本ほどだった桜も今では 667 本が
咲き誇る桜の名所となりました。(平成 28 年 2 月時点)
結婚記念やお子様の誕生記念など様々な節目で
植樹されています。

発行 伊達市

発行日 平成 28 年 3 月

